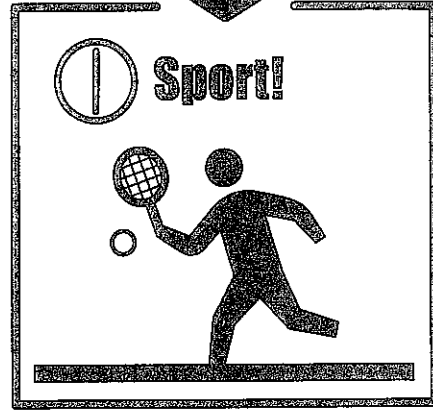
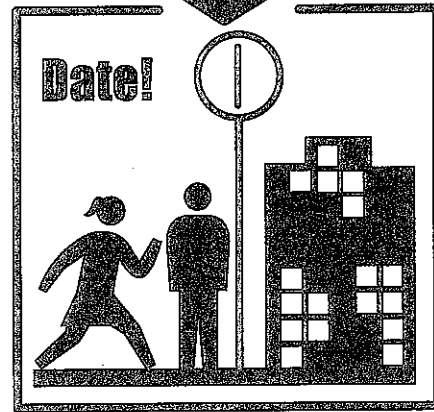
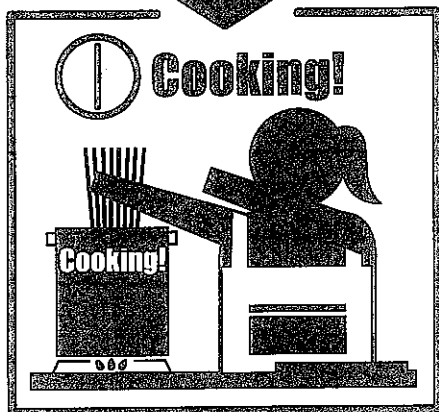
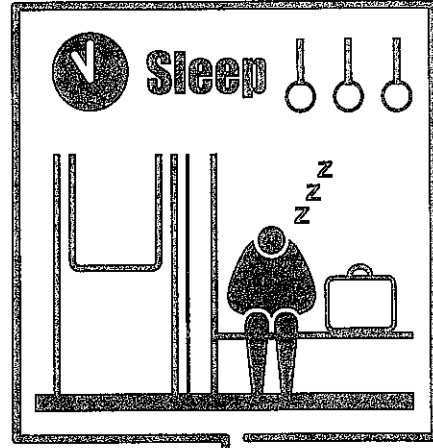
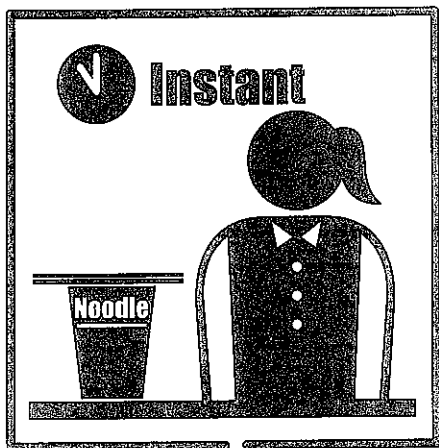


STOP 働き可也



全体会 / 7月7日㊦

PM1:30~PM5:00

分科会 / 7月8日㊦

AM9:00~PM0:00

記念講演 若者の悲惨な労働実態
 ~雇用と働き方をどうやって変えていくか?~
 労働経済ジャーナリスト 小林美希氏

基調報告 働き方を見直し、いのちと健康を守るために
 報告者: 新谷一男事務局長 (いのちと健康を守る京都センター)

報告 京都におけるとりくみとたたかい
 ●過労死防止基本法制定にむけて ●アスベストの認定基準裁判闘争について
 ●JAL争議と空の安全

第1分科会「職場のメンタルヘルス対策を考える」

第2分科会「長時間・深夜労働を考える」

第3分科会「アスベスト問題を考える」

第4分科会「非正規雇用の働き方を考える
 “あるべき働き方とは?”」

第5分科会「労働組合の安全衛生活動から学ぶ
 ~産業医に焦点を当てて~」

働き方を見直し 京都集会

8TH REVIEW THE WAY OF WORKING IN KYOTO MEETING

2012年7月7日SAT~8日SUN

場所: ラボール京都 京都労働者総合会館、四条御前西入ル北側すぐ
 駐車場はございませんので交通機関等をご利用の上、お越し下さい

参加費 / 1日1000円 両日1500円 (資料代)

STOP! 働きすぎ 働き方を見直す京都集会

日時：2012年7月7日SAT 8日SUN
7日:PM1:30~PM5:00 8日:AM9:00~PM0:00

場所：ラポール京都 〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30-2
TEL:075-801-2308

※駐車場はございませんので公共交通機関等をご利用の上、お越し下さい。

参加費

1日/1,000円

両日/1,500円

(資料代含む)

全体会 7月7日(土) PM1:30~PM5:00 受付PM1:00~

記念講演

若者の悲惨な労働実態 雇用と働き方をどうやって変えていくか?

“景気回復”“グローバル市場で生き残るため”といった企業の掛け声の裏で、雇用が崩壊し、妊娠中の解雇や職場での流産・過労自殺など失われる「いのち」。若者の様々な労働実態を取材した講師の告発です。

講師 小林美希氏

PROFILE 労働経済ジャーナリスト、毎日新聞社エコノミスト編集部で記者として働く、2007年2月よりフリーのジャーナリストに、若者の雇用、結婚、出産・育児と就業継続などを中心に取り組む、著書に『ルポ正社員になりたい一娘・息子の悲惨な職場』、2007年、日本労働ベンクラブ賞受賞。『ルポ 職場流産—雇用破壊後の妊娠・出産・育児』など

基調報告

働き方を見直し、いのちと健康を守るために

雇用形態の激変、長時間労働の蔓延など過労死を生む状況を変え、いのちと健康を守る主体者に。

報告者 いのちと健康を守る京都センター
事務局長 新谷一男

報告

京都におけるとりくみとたたかい

- 過労死防止基本法制定にむけて ●アスベストの認定基準裁判闘争について
- JAL争議と空の安全

分科会 7月8日(日) AM9:00~PM0:00 受付AM8:40~

集会まどめの交流会
PM1:00~PM2:30

1 職場のメンタルヘルス対策を考える

自殺者が14年連続で3万人を超えています。勤務問題を原因とする自殺は年間2,700人です。自殺で大事な人を失った家族や職場の方も大きなショックを受けます。メンタルヘルス対策は喫緊の課題です。メンタルヘルス対策の基本、予防や早期対応などを学ぶとともに、いくつかの職場から現状をレポートしていただき、参加者の交流で、メンタルチェックや研修、職場復帰支援問題等、様々な角度からメンタルヘルス対策を深めていきたいと考えています。

2 長時間・深夜労働を考える

長時間・夜勤労働が、働く者にとって、健康・安全・生活の質にどのような影響を及ぼすのでしょうか。分科会では、夜勤の有害性について一緒に学びたいと考えています。国際的には、ILO条約、EU指令など地域や国で夜勤の規制をかけています。しかし、わが国では長時間労働の規制には弱点があり、夜勤労働を規制するルールはなく、野放しになっているのが実情です。当たり前となっている「24時間型社会」を警鐘し、一緒に長時間・夜勤労働を考えましょう。

3 アスベスト問題を考える

今、建設労働者をはじめ、アスベストを扱ってきた人々に健康被害が広がっており、建設労働者の提訴も全国で相次いでいます。私たちの周りにはアスベストを使用した建築物が大量に存在しています。多くの国民がリスクにさらされているのです。他方、医療機関でのアスベスト疾患に対する認識がまだまだ薄く、多くのアスベスト疾患が「タバコが原因」などとされ、見逃されている現状もあります。「人類史上最大の公害」とも言われるアスベスト被害について考えます。

4 非正規雇用の働き方から考える “あるべき働き方とは?”

これまでは、若者や女性にスポットをあてた分科会をしてきました。今年は若者や女性だけに留まらなくなった非正規雇用の働き方に範囲を広げて分科会を行いたいと思います。今、派遣法の不十分すぎる改訂や有期雇用契約規制の問題が、特に話題になっています。その中で“あるべき働き方”とは何なのか、今ある労働法の中に潜む問題点は何なのかについての学習会と交流を交えて考えていきたいと思っています。

5 労働組合の安全衛生活動から学ぶ ~産業医に焦点を当てて~

厳しい職場の労働実態、仕事からくる健康破壊がすすみ、労働者の安全と健康を守る労働組合の役割は一層大きくなっています。職場の安全衛生活動を活発にし、働き方や職場環境の改善が求められています。あなたの職場の「安全衛生委員会」は? 「産業医」は役割を果たしていますか? 50人以下の職場での安全衛生活動は? どの職場でも共通した課題が山積みです。活動内容を持ち寄り、交流しましょう。

主催 ●STOP! ぽ・働きすぎ!
「働き方を見直す京都集会」実行委員会

お問合せ ●京都総評
TEL:075-801-2308 FAX:075-812-4149
e-mail:sohyo@labor.or.jp

